

問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)	問題		得点率 (%)
1	問 1 (1)	41.5	2	問 1	91.3	3	問 1 (1)	68.3
	問 1 (2)	77.7		問 2	36.6		問 1 (2)	49.6
	問 2 (1)	35.5		問 3	42.6		問 2 (1)	96.2
	問 2 (2)	19.5		問 4	59.9		問 2 (2)	88.3
	問 3	88.3		問 5	80.4		問 3	43.4
	問 4 (1)	63.4		問 6	34.7		問 4	58.9
	問 4 (2)	55.5		問 7	76.2		問 5	25.3
	問 5 (1)	81.1		問 8	67.5		問 6	54.7
	問 5 (2)	20.4		問 9	63.4		問 7	64.9
					問 10		45.3	問 8

合格者最高点 67  
合格者最低点 27

1 地理分野からの出題です。

- 問 1 (1) 2 地域の新旧地形図を比較する問題で、やや低い得点率となりました。
- (2) 蒸気機関車の熱源として「石炭」が使用されていたことを分かったうえで、その特徴と日本の輸入先を判断する問題でした。基本的な学習事項であり、高い得点率でした。なお、(イ)の説明文は天然ガスに関するものでした。
- 問 2 (1) 与えられた地図と資料から思考・判断をする問題で、やや低い得点率となりました。『鉄道唱歌』から、かつての東海道本線のルートが、現在の御殿場線のルートと重なることを推測し、そこから対応する地名を選ぶ必要がありました。
- (2) 複数の資料を活用する論述問題でしたが、もう少し高い得点率を期待していました。(1)から東海道本線のルート変更を、【資料 2】からトンネルの建設を、【資料 3】と設問文から湧水の枯渇が懸念されることを判断する必要があり、与えられた情報を素早く理解し、結び付ける力があるかを問う問題でした。
- 問 3 雨温図について出題しました。基本的な学習事項であり、高い得点率でした。
- 問 4 (1) 鉄道会社のデータと各地域の特性を結びつける問題で、概ねよくできていました。
- (2) 基本的な学習事項であり、概ねよくできていました。別解として、「ピギーバック」も可としています。
- 問 5 (1) 見慣れない図表だったと思いますが、基本的な学習事項であったこともあり、高い得点率でした。
- (2) 産業・人口に関する統計データをもとに出題しました。もう少し高い得点率を期待していました。明石市が京阪神地帯のベッドタウンであることから③を選べたかが鍵でした。

2 歴史分野からの出題です。

- 問 1 確実に得点してもらいたい問題であり、高い得点率でした。志賀島は現在の福岡県に位置しています。
- 問 2 やや低い得点率となりました。律は刑罰のきまりであり、令は行政法にあたります。
- 問 3 やや低い得点率となりました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみを正解としました。
- 問 4 鎌倉時代に関する基本的な論述問題でしたが、概ねよくできていました。元寇は防衛戦であり、幕府は元軍を追い返したものの新たな領地を得ていません。そのため、幕府に対して奉公した御家人へ、御恩として土地を十分に与えることができず、将軍と御家人の関係が崩れるきっかけとなりました。
- 問 5 確実に得点してもらいたい問題でした。日明貿易は、明に朝貢する形でおこなわれました。明との貿易を認められたのは「日本国王である源道義」であり、これは足利義満を指しています。よって②と④が正文です。

- 問6 空欄補充と文章正誤を組み合わせた問題で、やや低い得点率となりました。会話文より、**あ**はスペイン、**い**はポルトガル、**う**はオランダ、**え**はアメリカ、**お**はイギリスであると判断します。**A**のバテレン追放令は、織田信長ではなく豊臣秀吉が発しました。**C**のオランダ商館は、平戸から長崎の出島に移されました。**D**は「和親条約は結ばれなかった」という部分が誤っています。**E**のラクスマンとレザノフは、イギリスではなくロシアの使節です。
- 問7 確実に得点してもらいたい問題で、高い得点率でした。**A**は「隋」という部分が誤っています。**B**は、朝鮮通信使などの使節が送られており、「交流はおこなわれなかった」という部分が誤っています。**D**の日韓基本条約は、佐藤栄作内閣のときに締結されました。また、朝鮮戦争は日韓基本条約の締結より前に起こっています。
- 問8 確実に得点してもらいたい問題で、概ねよくできていました。漢訳洋書の輸入緩和は、享保の改革でおこなわれました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみを正解としました。
- 問9 基本的な学習事項であり、概ねよくできていました。衆議院・貴族院は、大日本帝国憲法で規定されたものであり、憲法の審議にはかかわっていません。
- 問10 やや低い得点率でしたが、もう少し高い得点率を期待していました。①は誤文です。第一次世界大戦において、日本はイギリス側として参戦し、ドイツ、オーストリアとは対立しました。

**3** 公民分野からの出題です。

- 問1 (1) 基本的な学習事項であり、概ねよくできていました。①と②は正文で、③は誤文です。2023年1月時点では、女性の衆議院議員は46名で、割合にすると9.9%です。
- (2) 概ねよくできていました。衆議院議員の小選挙区の区割り変更は、いわゆる「一票の格差」を縮めることが目的です。「一票の格差」とは、選挙区における有権者数と選出される議員の数の不均衡が、有権者の一票の価値の差を生じさせている問題です。定数が減っている県はいずれも地方であり、過疎化が進み人口が減少しています。定数が増えている都県はいずれも都市部で人口が多くなっています。定数変更の理由を、資料の内容を踏まえて説明する問題ですので、資料の読み取り結果も書いてもらいたい問題でした。
- 問2 (1) ウクライナの位置を問う時事問題で、高い得点率でした。
- (2) 時事問題でしたが、高い得点率でした。
- 問3 議員定数について出題しましたが、やや低い得点率となりました。本会議の定足数は、総議員の3分の1です。したがって、以下のように計算します。
- 衆議院の定数：465 → 衆議院本会議の定足数： $465 \div 3 = 155$  ⇒155人
- 参議院の定数：248 → 参議院本会議の定足数： $248 \div 3 = 82.6666$  ⇒83人
- 問4 衆議院に関する問題でした。概ねよくできていました。
- 問5 参議院議員選挙について出題しましたが、もう少し高い得点率を期待していました。**A**は参議院議員選挙の選挙区は、原則は都道府県単位ですが、人口が少ない高知県・徳島県・鳥取県・島根県はそれぞれ合区となっているため、選挙区の数 は45です。**B**は、比例代表選挙での当選順位は、参議院の場合は個人名での獲得票数が多い順番となります。参議院の比例代表選挙は、政党名か候補者名を書いて投票することになっています。
- 問6 国会について出題しました。概ねよくできていました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみを正解としました。
- 問7 自由権について出題しました。概ねよくできていました。「信教の自由」は、精神の自由に分類され、同じ分類になるのは**A**の「学問の自由」と**C**の「表現の自由」です。**B**の「奴隷的拘束・苦役からの自由」は人身の自由、**D**の「職業選択の自由」は経済活動の自由に分類されます。
- 問8 現在の政権・政党について出題しました。概ねよくできていました。漢字指定の問題ですので、正しい漢字での解答のみを正解としました。